



たび や 旅に病んで ゆめ か の 夢は枯れ野を かけめぐ^る
まつ お ば しょう
松尾芭蕉



だい こ ひ 大根引き だい こ みち 大根で道を おし 教えけり

こ ば や し い つ さ
小林一茶



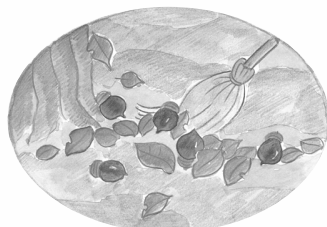
は ね つく羽根を いぬ 犬がくわえて まい 参りけり

こ ば や し い つ さ
小林一茶



どん ぐり 団栗の とも は 共に掃かるる お ば 落ち葉かな

まさ お か し き
正岡子規





おんせい
音声はこちら

慣用句

1年目 ステップ9

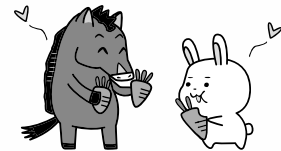
むね は
胸を張る

自信のある堂々とした態度を示す。



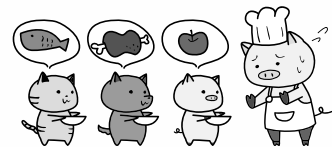
くち あ
口に合う

食べ物の味が、好みと一致していること。



て や
手を焼く

どうやってもうまくいかず取り扱いに困って持て余す。



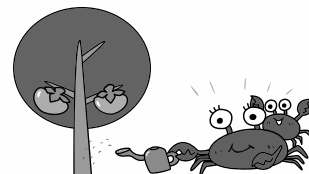
つる ひとこえ
鶴の一声

権威、権力のある人の一言によって、衆人を押さえること。



て しお
手塩にかける

自分が苦労や努力をして無事に育てあげること。





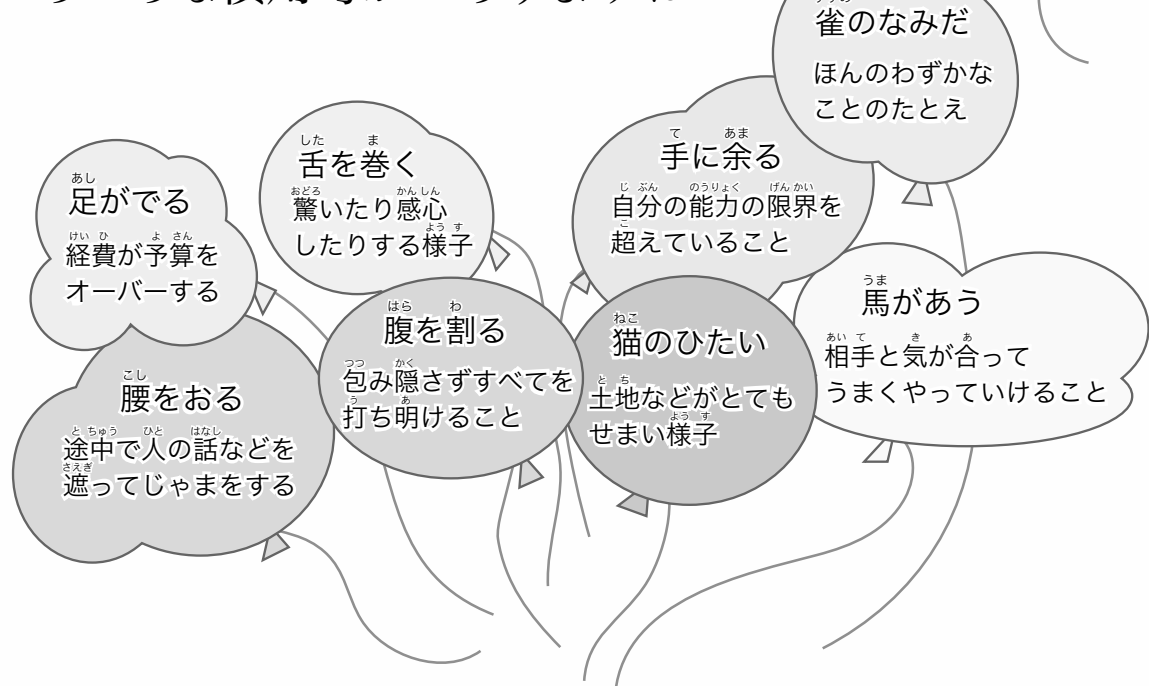
《慣用句のうた》

慣用句 三つ以上の言葉が あわさって
 もとの意味と 違った意味に なったもの
 足が棒になる 足が棒になったんじゃ ありません
 足がひどく疲れたこと を意味します

足がでる 舌を巻く 手に余る
 目が早い 腰をおる 腹を割る
 馬があう 猫のひたい 雀のなみだ

目が早い
 見つけるのが
 すばやい

いろいろな慣用句が ありますね





おんせい
音声はこちら

ことわざ

1年目 ステップ9

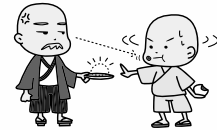
ほね お ぞん もう
骨折り損のくたびれ儲け

なんの利益もなく、くたびれただけで終わること。



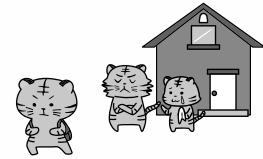
ろん しょう こ
論より証拠

口先だけで議論するより、実際に証拠を示す方が
確実だということ。



か わい こ たび
可愛い子には旅をさせよ

世間のつらさを経験させた方が、その子の将来の
役に立つということ。



つき
月とすっぽん

二つのものの違いがとても大きいことのたとえ。



こん や しろばかま
紺屋の白袴

人のためにばかり忙しく働いて、自分のことをす
る暇がないことのたとえ。



こうぼう ふで あやま
弘法も筆の誤り

達人でも失敗することもあるというたとえ。





おんせい
音声はこちら

住^{すみ}の江^え
岸^{きし}に寄^よの
夢^{ゆめ}の通^{かよ}波^{なみ}
ひ路^じよる
人^{ひと}目^めへや
よくらむ

(藤原敏行朝臣)
ふじわらのとしゆきあそん

ちはやぶる
神^{かみ}代^よも聞^きかず
からくれなゐに
竜^{たつ}田^た川^{がわ}
水^{みず}くくるとは

(在原業平朝臣)
ありわらのなりひらあそん

